

自然休養林情報

南の島にも雪が降る？

今年の冬は、全国的に寒い日が続いていますが屋久島も例外ではなく、海岸近くの里山は小雨でも前岳の山頂部まで積雪があり、町中でもみぞれ混じりの雨が降ることがあります。

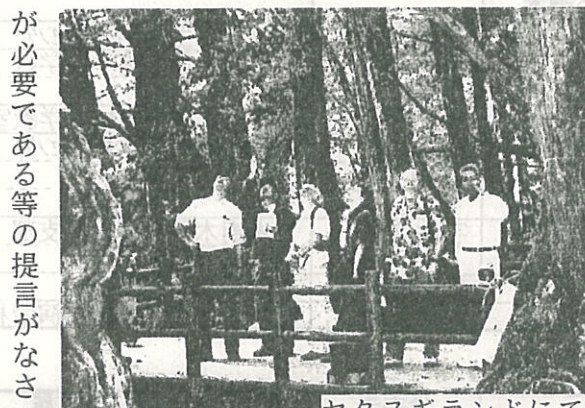
ヤクスギランドへの唯一のアクセス道路である県道屋久島公園安房線も荒川林道入口の三叉路からヤクスギランド方面は、積雪のため度々交通止めとなっています。ヤクスギランドへは町中(安房)から車で約30分程度でいけますが、標高差約1,000mということもあり気温差も大きく、防寒対策が必要です。

また、ヤクスギランドや白谷雲水峡の歩道沿いに残雪のかたまりをみることができ、週末には雪だけを見に来る家族連れなども見られるようです。



世界遺産に登録された屋久島の適正な保全管理を推進するため、関係機関の連絡調整を行う目的で各機関出席のもと開催されました。

IUCN調査団の調査結果について事務局である環境庁から「環境に配慮した西部林道」、「環境学習に適したヤクスギランドと白谷雲水峡」等高い評価を得た反面、大株歩道については、環境と利用の調和を図り、至急の対応並びに歩道整備のあり方の再検討



ヤクスギランドにて

世界遺産委員会

屋久島保護に高い評価

第七回屋久島世界遺産地域連絡会議開催

一月二七日、本年度二回目の連絡会議が鹿児島市で開催され、昨年一月二日にイタリアで開催された第二回世界遺産委員会でのIUCN(国際自然保護連合)の報告では、屋久島世界自然遺産地域保全状況について極めて高い評価であったとの報告がありました。

れたとの説明がありました。今後における各機関の歩道整備実施計画の報告後、上屋久町から旧宮之浦登山道の復活計画について、具体的に提案されました。その他の議題についても引き続き検討していくよう確認しました。

屋久島森林生態系保護地域で様々な調査・研究が実施されています

これまで屋久島森林生態系保護地域などにおいて、大学の研究室をはじめ各種研究機関による動植物・気象等の調査・研究が実施されていますが、その実施状況を裏面に掲載します。

また、調査終了後に調査・研究の成果を報告書(論文等含)として提供していただいています。これらの貴重な資料をもとに、保全センター資料室の充実を図り、今後の屋久島の調査・研究に利用して頂ければと考えています。

営林局ホームページで保全センターの業務内容がわかります

現在インターネット上に掲載されている熊本営林局のホームページに、保全センターの紹介が追加されました。内容は、「保全センター設置の目的」「組織図」「主な業務内容」「業務計画及び実績」等が写真入りで紹介されています。

アドレスは、<http://www.info.beras.or.jp/inkuma/>です。ぜひアクセスしてみてください。

屋久島の植物



オガタマノキ (もくれん科)

関東以西の太平洋側、四国・九州以南に分布する常緑高木。花期は二〜四月。屋久島では低地の川沿いに大木が見られ、楠川の湯之河橋のたもとでは、例年より早くコブシの花を小さくした様な白い花が、咲いていた。オガタマとは招霊のことといわれ神事に用いられてきた。

山岳ガイド業務等へ保全センター業務を紹介

◇屋久島ガイドセミナーへ参加◇

一月一七日、「屋久島の地層・地質」をテーマとした、屋久島環境文化研修センター主催のガイドセミナーが実施されました。保全センターでは、屋久島の生い立ちをさぐる貴重なセミナーを、職場内研修の一環としてとらえ、職員四名が参加しました。また、当日は地元の山岳ガイド等が集まる絶好の機会というところで、時間をいただき保全センター業務の紹介や、山岳事業等への協力を呼びかけるとともに、本紙洋上アルプスの今後の配布希望を募り山岳ガイド業務等の新たな従事者の把握も行いました。

お知らせ

ランド管理棟を改築

自然休養林の施設整備でヤクスギランドの管理棟を改築します。工事期間中(二月二日〜三月二〇日)は、仮設の管理棟で協力金徴収業務を実施しますので、入場者の皆さんにはご迷惑をお掛けしますがご協力をお願いします。

人の動き

一月一六日付
旧 自然遺産保全調整官 山下孝親(加治木署長へ)
新 自然遺産保全調整官 空 席

屋久島森林生態系保護地域などにおける学術調査の入林状況

(平成7年3月1日～平成10年1月31日)

植物関係

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
植生調査	相場慎一郎	北海道大学大学院地球環境科学研究科	16, 24, 272	7	
〃 「常緑広葉樹種の材比重の測定」	〃 (甲山隆司)	〃	14, 16, 24, 35, 76, 257, 258	8	
〃	〃	〃	14, 35, 76, 257, 258	8	
〃	〃	〃	3, 4, 14, 32, 35, 257, 258	9	
〃	〃	〃	35, 74, 75, 257, 258	9	
屋久島固有植物調査	井上建	信州大学理学部生物学科	28, 30, 31	7	環境庁委託調査
植生調査	朱宮丈晴	千葉大学生態学研究室	2	7	
調査研究「屋久島低地部攪乱立地に見られる先駆性樹種の成長特性」	三好弘子	千葉大学理学部生物学科	70	7	
ヤクダネゴヨウの現存木調査	齋藤明	九州大学農学部	47, 48	7	林木育種センターとの共同研究
ヤクダネゴヨウの現存木調査	〃	〃	〃	8	
ヤクダネゴヨウの球果生産量、マツノザイセンチュウ被害による枯死の確認、個体群動態の調査	〃	〃	3, 4, 47, 48, 66	9	
学術調査「照葉樹林の構成種の形態測定」	石井励一郎	京大学生態学研究センター	16～21, 24	8	
植生調査	大沢雅彦	千葉大学理学部生物学科	2, 4, 204	8	
〃	〃	〃	2い, 4い, 204う	9	
川沿いの植物調査	村上哲明	京都大学理学部植物学教室	23, 86	9	
動物による種子散布の研究	野間直彦	京大学生態学研究センター	1～4	9	
生態学の研究	〃	〃	〃	9	
〃	〃	〃	〃	9	
オオバヤドリギ分布調査	宇佐美陽一	日本樹木医学会福岡県支部	2い	9	
〃	〃	〃	2い, 204う	9	
照葉樹林稚樹の伸長パターンの調査	竹中明夫	国立環境研究所	4	9	
溪畔林の植生調査	谷口義信	宮崎大学農学部附属演習林	2, 3, 4, 47, 48, 66	9	

動物関係

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
ヤクザル及び植物調査	太谷達也	名古屋大学大学院農学研究科	3～4	7	
〃	〃	〃	〃	8	
ヤクザル垂直分布調査	大竹勝	日本モンキーセンター栗栖研究所	瀬切川, 大川の中・上流域	7	
ヤクザルの生態調査	杉浦秀樹	東京大学理学部人類学教室	安房林道周辺	7	
西部林道周辺のヤクザルの餌付き方の調査及び半山地区のヤクザル5群の頭数調査	〃	〃	1～4	9	
野生ニホンザルの社会生態学的研究	田中俊明	日本大学大学院文学研究科心理学専攻	1～4	7	
サル及びシカの生態調査	SANDEEP VADHER	永田	257, 258	7	
野生ニホンザル社会の生態学的研究	松原幹	犬山市	1～4	8	
ヤマメ等生息調査	森部清司	またたび溪流倶楽部	鯛ノ川, 安房川小杉谷, 白谷雲水峡周辺	8	
動植物の学術研究	David Hill	サセックス大学	一湊林道, 永田歩道, 加々岳一円	8	
ヤクシカ及び鳥類に関する調査	鶴田兼一	熊毛支庁屋久島事務所	1, 2	8	
野生ニホンザルの社会、生態学的研究	早川祥子	愛知県	1～4	8	
〃	〃	〃	〃	8	
ニホンザルのスギ林の利用に関する研究	船越美穂	京都大学	9～15, 74～86	8	
ヤクザル分布調査	好廣眞一	龍谷大学経営学部	8, 9, 13, 14	9	
ヤクザルの生殖行動の調査	Joseph Soltis	京都大学霊長類研究所	1～4	9	
ヤクザル調査	半谷吾郎	京都大学理学研究科	6～9	9	
野生ニホンザル社会の生態学的研究	〃	〃	1～4	9	

その他

目的	代表者	所属	地域(林班名等)	年度	備考
屋久島産蘇苔類の分布調査(変形菌出現調査)	小原比呂志	(有) 屋久島野外活動総合センター	212～215	7	
菌類調査	勝本謙	山口市	ヤクザランド線, 白谷林道, 一湊林道沿線	7	環境庁委託調査
土壌生成分類学的基础調査	田村憲司	筑波大学応用生物化学系	屋久町, 上屋久町全域	8	
屋久島に分布する土壌の土壌成分生成分類学的基础調査	〃	〃	〃	9	
地質調査「屋久島花崗岩の形成と貫入過程」	西本昌司	名古屋市科学館	屋久町, 上屋久町全域	8	
「酸性雨」雪及び樹氷の採取	古賀実	産業医科大学共同利用研究センター	217～221	8	科学技術庁振興事業団助成

※ 屋久島森林生態系保護地域は平成四年三月に原始的な天然林を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究等に資すること目的として設定されました。

なお、屋久島森林生態系保護地域内で調査・研究を実施する場合は 国有林野入林許可及び保護林調査許可が必要で。